

「変身大賞」受賞者のプロフィール

企業部門 変身大賞 奨励賞

組織名	有限会社 たかえん			
設立	H初年創業 S初年	住所	横手市十文字町字曙町 6	
代表者	高橋 斌	社員数	21名	Tel 0182-42-0363
事業内容	衣料品小売業、リサイクルショップ、惣菜の製造・販売、カフェテリア			
変身経緯 と 受賞理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社は昭和初年創業の衣料品小売業者であるが、量販店の進出等に対応するために、5代目の専務高橋基氏の提案で平成12年にリサイクルショップ「遊（ゆう）ず堂」を開店、さらに平成20年に惣菜店兼カフェテリア「デリカテッセン紅玉（こうぎょく）」を開店した。 ・ 高橋専務は、衣料品小売りも年々厳しい状況にあること、リサイクル店も変化期にあることから、自社の経営を根本から見直したいと考えて、中小企業家同友会が主催する研修会に参加し、社長（父親）や母親、妻と徹底的に話し合い、当社の事業を「地域の新価値コミュニティ創生業」と定義し、妻の提案で「地域の豊かな素材を活かした食を通じ、豊かな暮らしを提案する場」として、紅玉を開店した。 ・ 紅玉には、惣菜の買い物や食事客の他に、食材の生産者、酒造メーカー、食品加工業者、地域活性化の担い手等が来店し、地域コミュニティの集会所的な役割を果たしている。また、トップダウン経営を同友会での研修を機に、社員とともに経営を考える社風に変える等、経営者も変身しつつある。 ・ 以上のとおり当社の事業展開は、少子高齢化、中央資本の進出等で厳しい状況にある地域企業にとって、モデルケースとなるものであり、コミュニティのなかから新しいビジネスの芽も育つ等、秋田県の活性化に貢献していると認められる。 			

地域社会部門 変身大賞 奨励賞

組織名	ココラボラトリー			
設立	平成17年5月	住所	秋田市大町3-1-12	
代表者	笹尾 千草	従業員	2名	TEL 018-866-1559
事業内容	貸しギャラリー、文化イベントの企画、ビルのリノベーション			
変身経緯 と 受賞理由	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田高校を卒業後京都造形芸術大学に進学、卒業後京都で創業元禄元年の竹又中川竹材店で竹のデザイン、活用法を学ぶ ・平成15年秋田に帰郷し、クリエイター集団「カラーズ」に参加、同17年に県の創業支援事業に採択され、貸しギャラリー「ココラボラトリー」を開設し、地域の芸術家に表現の場を提供するとともに、展覧会の広報や会場設営等のサポートも行っている。 ・その後草間彌生展の企画運営や様々な文化活動の企画とサポートを継続しており、昨年度は仲小路ビルのリノベーションに取り組む等活動範囲を広げている。 ・京都では秋田との文化的、芸術的なギャップにショックを受けたが、帰郷後は秋田の様々な事柄が新鮮に見え、地域で頑張る芸術家に表現の場を提供することが、自分の使命と感じるようになり、ココラボラトリーの開設へと繋がった。 ・京都で活動していた頃の秋田の文化に対する考え方と帰郷後の考え方が確実に変わっており、これがココラボの開設に繋がったと考えられる。 ・ココラボは、様々な芸術家の交流の場として重要な位置を占めており、秋田県の文化レベルの向上に寄与し、活性化に貢献していると認められる。 			

地域社会部門 変身大賞

組織名	スペシャルオリンピックス日本・秋田設立準備委員会			
設立	平成20年5月	住所	秋田市泉中央2-1-3	
代表者	西村 紀一郎	会員数	280名	TEL 018-896-0570
事業内容	知的発達障害者をスポーツを通して支援する全国組織の秋田支部			
変身経緯 と 受賞理由	<ul style="list-style-type: none"> ・スペシャルオリンピックス（以下SOと略）の理念は、「知的発達障害のある人たち（アスリート）に年間を通じて、スポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かちあう機会を継続的に提供する」ことであり、人類共通の目的である。 ・当会の副会長である秋田トヨタの温井社長が、平成17年に秋田トヨタに赴任する際にSOの地方組織がなかったのは、秋田だけだった。 ・温井社長は社長就任後、経営品質の手法で社員の意識改革と組織改革に取り組む傍ら、SOの理念に共鳴し企業の社会的貢献として現事務局長の奥様とともにSO秋田の設立に奔走し、赴任後3年で当会の設立に漕ぎつけた。 ・企業経営者とその奥様がこれまで縁のなかった地域で、このような組織を立ち上げるのは、並大抵の努力ではなかったと考えられる。 ・設立3年目の昨年の全国大会では、水泳とテニスで金メダル、水泳で銀メダルを獲得する等の成果を上げており、現状300名近い会員数を擁して、安定した組織基盤を築きつつある。 ・活動の成果としては、アスリートがトレーニングを行うことで、挨拶やルールを通して社会的な決まりを身につけるとともに、技術的な向上を目指す過程で集中心や生き甲斐が出て来る。 <p>また、これまでアスリートと接する機会のなかったボランティアも、接し方が解るようになり、アスリート以外の知的障害者へも気軽に声掛けが出来る等、結果的には知的障害者への応援団が増えることになる。</p>			

行政部門 変身大賞

組織名	横手市			
設立	昭和 26 年	住所	横手市前郷字下三枚橋 269	
代表者	五十嵐 忠悦	職員数	1,698 名	TEL 0182-35-2164
事業内容	地方自治体			
変身経緯 と 受賞理由	<ul style="list-style-type: none"> ・五十嵐市長は企業経営者出身で、市長就任時より「行政も経営である」との信念のもと、職員の意識改革と組織改革に取り組んできた。 ・平成 13 年に秋田県経営品質協議会が設立されたことに伴い、翌年同会に入会し経営品質の手法で、行政の経営品質向上に取り組んでいる。 ・特に平成 17 年に 8 市町村が合併して新横手市が誕生したが、職員が旧市町村意識に捉われて、一体としての市政運営が困難であったので、行政経営理念と職員の行動指針を策定し、職員の一体化を実現した。 ・また、地場製品の売込みにも民間の手法を取り入れて、積極的なマーケティングを展開し、横手やきそばのブランド化や農産物の東アジアへの輸出を実現している。 ・職員の意識改革だけではなく、市民の意識改革にも取り組んでおり、地域のことは地域でやってもらうとの発想のもとに、「地域づくり協議会」をスタートさせ、地域づくりの予算を協議会からの提案のもとに配分している。 ・以上のとおり職員、市民の意識改革を行い、それを組織改革に結びつけて、県内の市町村でも特筆すべき成果を上げている。 			